

2016年2月10日

各位

双日株式会社

フィリピンの自動車生産・販売会社
同国の自動車産業育成政策「CARS Program」への参加を表明

双日株式会社（以下、双日）が三菱自動車工業株式会社（以下、三菱自動車）とともにフィリピンで展開している自動車生産・販売会社三菱・モーターズ・フィリピンズ・コーポレーション社（Mitsubishi Motors Philippines Corporation、以下MMPC）は、本日、フィリピンの自動車産業育成政策「CARS Program (Comprehensive Automotive Resurgence Strategy Program)」への参加を表明しました。

双日は、1972年にフィリピンでの三菱自動車組立・販売事業に参入して以来、長年にわたり三菱自動車とともに車体の生産・販売・ブランド構築に努めてきました。この間、MMPCは同国の自動車生産会社として初めて累計生産50万台を達成し、高い販売シェアを維持しながら、同国の自動車産業とともに発展を続けています。

MMPCは、フィリピンの自動車市場の拡大に対応した生産能力を確保するため、本社および工場をリサール州カインタ市からラグーナ州サンタローザ市に移転し、2015年1月に新工場の開所式を行いました。今後、「CARS Program」への申請、比国政府による承認を経て、2017年初めより『ミラージュ』および『ミラージュ G4 (アトラージュ)』を新工場の生産ラインアップに加えることで、今後の需要拡大が期待される小型乗用車の市場ニーズに素早く対応できる体制を構築します。これらの新車種の生産開始に伴い、MMPCは第一段階としてプレス工場新設を含む43億ペソ（約105億円）以上の投資を実行する計画で、生産規模の増強に応じた更なる投資ならびに雇用拡大も進めていきます。

フィリピンにおいて本格的なモータリゼーションが進むと見込まれる中、今般の生産車種の拡充は「CARS Program」に呼応して日系部品メーカーの同国への進出を促し、自動車部品産業の裾野の拡大ならびに自動車産業全体の活性化にも寄与するものです。MMPCは、今後も同国での生産および販売拡大を通じて、フィリピンの更なる産業基盤の強化に貢献してまいります。

三菱自動車・フィリピンズ・コーポレーション (MMPC) の概要

会社名	Mitsubishi Motors Philippines Corporation
設立	1963年2月
本社・工場所在地	フィリピン国 ラグーナ州 サンタローザ市
資本金	1,640百万ペソ
主な事業内容	三菱自動車の生産及び販売
代表者	加藤 芳明 (社長 兼 CEO)
株 主	双日株式会社 49%、三菱自動車工業株式会社 51%
生産能力	5万台/年
工場敷地面積	約 21.4ヘクタール
販売車種	【フィリピン生産】 アドベンチャー、L300 【タイ生産】 ミラージュ、ミラージュ G4(アトラージュ)、 モンテロスポーツ(パジェロスポーツ)、 L200/ストラーダ (トライトン) 【日本生産】 ASX (RVR)、パジェロ、ランサーEX

以上

【本件に関する問い合わせ】

双日株式会社 広報部 03-6871-3404